

PAT-NO: JP361175197A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 61175197 A  
TITLE: MOVABLE AMUSEMENT PARK  
PUBN-DATE: August 6, 1986

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKAMURA, RYUSUKE

NAWATA, SATORU

INT-CL (IPC): B63B035/86, B63B035/44

US-CL-CURRENT: 114/264

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a suitably movable amusement park by installing amusement facilities on the top deck of a hull of a ship.

CONSTITUTION: On the top deck of a hull 1 movable on the water, amusement facilities such as a merry-go-round 3a, a Ferris wheel 3b, a roller coaster 3c, and the like are installed. The inside of the hull is divided into several floors with each floor having an indoor recreation hall 5, a restaurant, etc. By simply moving the hull to any desired place, an amusement park can be opened.

COPYRIGHT: (C)1986, JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-175197

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)8月6日

B 63 B 35/86  
35/44

Z-8309-3D  
A-8309-3D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 移動式遊園地

⑯ 特 願 昭60-13594

⑰ 出 願 昭60(1985)1月29日

⑱ 発 明 者 中 村 竜 介 東京都千代田区霞が関3丁目7番2号 宇部興産株式会社  
東京本社内

⑲ 発 明 者 縄 田 悟 東京都千代田区霞が関3丁目7番2号 宇部興産株式会社  
東京本社内

⑳ 出 願 人 宇部興産株式会社 宇部市西本町1丁目12番32号

## 明 細 書

### 1. 発明の名称

移動式遊園地

### 2. 特許請求の範囲

水上に移動可能かつ固定可能に浮べた船体物の上面に各種の遊園設備を専用にした移動式遊園地。

### 3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は水上を移動して適宜な場所で利用できるようにした移動式の遊園地に関するものである。

〔従来の技術〕

従来より、回転木馬や観覧車やジェットコースタ等の遊園設備は、例えば都市などのような人口密集地域に固定的に設けられている遊園地やレジャーランドに設けられていた。

〔発明が解決しようとする問題点〕

従来の遊園地は人口密集地域などに固定的に設けられていたため、定まった比較的広い土地が必要であったし、遊園地を移動させることはでき

なかった。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明においては、これらの問題点を解決するために、水上に移動可能かつ固定可能に浮べた船体物の上面に各種の遊園設備を専用にした。

〔作 用〕

この移動式遊園地を、水上で所望の場所から所望の他の場所へ所望の期間経過後に適宜移動させ、各地の利用者に利用させる。

〔実施例〕

つぎに、図面に示す1実施例によって、本発明をさらに詳細に説明する。

第1図において、1は、海や大きな川や湖などの水面上に浮べた船体物で、船体物1は水面上に移動可能かつ固定可能に設けられている。船体物1を移動させるときは、エンジン等を作動させて自走させることもできるが、場合によっては、あるいは、海などが狭い場合は、タグボートなどで引いて移動させることができる。船体物1としては、バースなどを用いることもできる。船体物1を停

止させるときは、いかりやアンカーを用い、また、仮設の橋2などを用いて、海岸15などとの間で自由に行来きできるようにした。

船体物1の上面の甲板部は平面状になっていて、この上面には、回転木馬3a、観覧車3b、ジェットコースタ3c、その他の各種の遊園設備3が専用に設けられている。4は船体物1の周囲に設けた安全用の柵である。

船体物1の内は数段に分けることができ、各段には、例えば、ゲームセンターや室内ボールゲーム場などの室内遊技場5や、アスレチック場やサウナ室、映画館、食堂6、喫茶店、休憩室など適宜なものを設けておくこともでき、場合によっては、ホテルになる寝室などを設けておくこともできる。

船体物1の底室の一部には、ディーゼルエンジンなどのエンジン7が設けられており、エンジン7の出力軸には歯車装置8、クラッチ9などを介してスクリュ10が連結されている。歯車装置8には発電機11が連結されており、発電機11に

は、各種の遊園設備3用の複数個の電動機12等が、配線13とスイッチ14によって電気的に連結されている。したがって、クラッチ9を連結した状態でエンジン7を作用させれば、スクリュ10が回転するので、船体物1を移動させることができる。また、クラッチ9を遮断した状態でエンジン7を作用させれば、発電機11を回すことができ、発電機11の作用で得られた電圧により、各種の遊園設備3用の電動機12やその他の電気を必要とする設備を作用させることができる。勿論、船体物1を水上などで航行させているとき、遊園設備3等を動かすこともできる。

#### (発明の効果)

本発明においては、特許請求の範囲に記載したような技術的な解決手段を用いることによって、遊園設備を船体物とともに水上の任意の場所に移動させ、そこで固定させて大衆の利用に供することができる。なお、恒久的な遊園設備が設置されていない地域において、ある任意の期間に利用者の集中度が高まる地域であれば、本発明の移動式

遊園地を任意の期間だけ開設することができるし、また、所望の期間が過ぎれば、他の新しい場所に移動させて、そこで開設することができるので、かなり広い範囲で本発明の移動式遊園地を多くの人に利用させることができる。

なお、船体物に備えたエンジンを用いて、船体物を移動させるだけでなく、船体物に設けた遊園設備などを作用させることもできる。

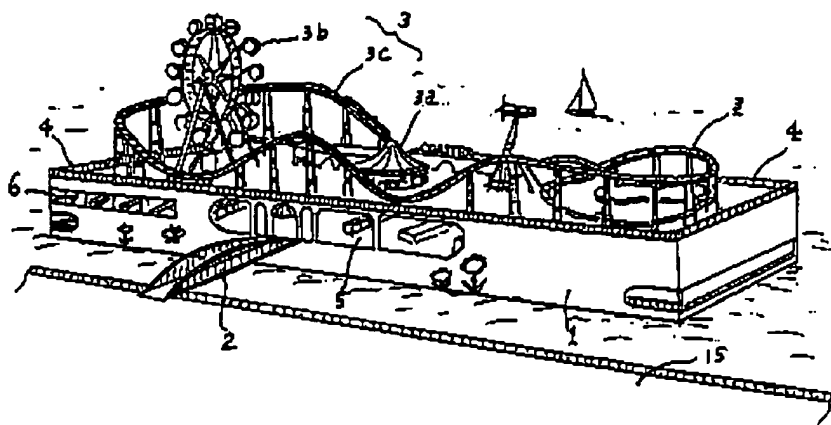
#### 4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の1実施例を示すもので、第1図は斜視図、第2図は縦断図である。

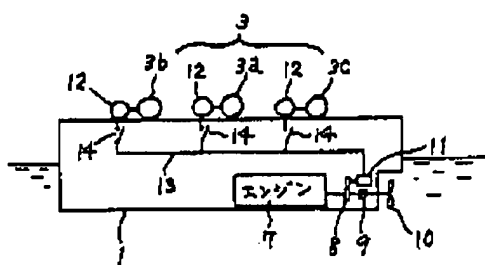
1…船体物、3…遊園設備、5…室内遊技場、7…エンジン、9…クラッチ、10…スクリュ、11…発電機、12…電動機

特許出願人 宇都宮産株式会社

第 1 図



第 2 図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**